



横浜市立富岡小学校

# 学校だより 3月号



## 新しい一步を踏み出すために ～もうすぐ 進学 進級 です!～

校長 浅野 修一

今年度始まりの令和2年4月は、始業式と入学式のみ行い、その後2か月間の臨時休業。思い返してみると、何か遠い昔のように感じられます。現在、新型コロナウイルス感染予防に伴う様々な制約はありますが、子ども達が元気に学校生活を送りコロナ禍前の学校に近づきつつあるからこそ、そう感じるのかもしれませんが。このような「今」を実現できたのも保護者、地域の皆様はじめ、富岡の子ども達を見守ってくださる全ての方々のおかげです。心から感謝申し上げます。



さて令和2年度もいよいよ最後の月を迎えます。「1月行く、2月逃げる、3月去る」と言われることがあります。1月は正月があり（楽しくて勢いがあるってあっという間に終わってしまう感じ）、2月は元々28（29）日で普通の月より短く（気が付いたら月末…）、3月は年度末なのでやることが多い。こうしたことから、1、2、3月は日が早く過ぎる（やることが多いのに思うように進まない）ということを表すのが、「1月行く、2月逃げる、3月去る」という表現です。1月の「いち」の最初の音「い」を使って「行（い）く」、2月の「に」の音を使って「逃（に）げる」、3月の「さん」の最初の音「さ」を使って「去（さ）る」というように言葉遊びの要素が入っている表現です。一種の頭韻ですね。（諸説あり…）

子ども達も、進学、進級に向けて各学年もいよいよまとめの時期に入りました。特に6年生は卒業を控え、慌ただしく日々が過ぎていきます。残り少ない富岡小学校での時間を大切にしていってほしいと思っています。1～5年生も4月からの新学年に向けての心構えや準備を進めているところです。進学や進級への夢や希望をふくらませながら、今の学級での仲間との時を、思い出深く有意義なものにしてほしいと思います。

最後になりましたが、激動の令和2年度の本校教育活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜りましたこと、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。現時点でこれからを見通すことは難しい状況ですが、これまで通り子ども達のことを第一に考えながら、一歩ずつ着実に教育活動を推進してまいりたいと存じます。引き続きご協力をいただけましたら幸いです。よろしく願い申し上げます。